

県政調査計画書

令和7年12月1日

神奈川県議会議長

殿

会派名 立憲民主党・かながわクラブ神奈川県議会議員団団長名 青山圭一

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 柴居 学 (団 員) 市川よし子、赤野たかし、市川さとし、 須田こうへい、相原しほ、平野みぎわ
2 調査目的	韓国・文在寅政権退陣以降、冷え込んでいた日韓関係は改善の兆しを見せ、自治体間交流も再び活性化する傾向にある。 現政権も日本との関係について、引き続き重視していることから、自治体レベルにおいても、今後更なる交流の進展が期待されている。 そのような状況を踏まえ、今回韓国を訪問し、最近の韓国と日本及び自治体との経済・行政等における交流の状況を関係機関から聴取するとともに、本県と友好交流関係のある京畿道庁を訪問し、近年の本県との交流の状況、今後の交流の在り方等について意見交換を実施し、今後の議会活動の参考とする。 また、セウォル号沈没事故による教訓を踏まえてオープンした体験型防災教育施設を訪問し、海難事故防止に向けた先進的な取組について調査する。
3 調査期間	令和8年3月26日～令和8年3月28日
4 調査地	大韓民国
5 調査項目	(1) ジェトロ・ソウル事務所 近年、日本と韓国との行政、経済、文化面等における交流は、再び活性化する傾向にあり、特に経済面における最近の交流の状況について聴取する。 (2) 自治体国際化協会（クレア）・ソウル事務所



	日本と韓国との自治体間の交流の促進・総括している団体であることから、最近の自治体間交流の状況について聴取する。 (3) 京畿道庁 神奈川県と韓国・京畿道は、長年にわたって友好交流関係にある。これまでの交流の実績を踏まえて、今後の交流の在り方について意見交換するほか、近年激甚化している我が国における災害の状況を踏まえ、京畿道における防災対策や風水害や事故による被災者支援の取組等について聴取し、今後の本県における防災施策検討の参考とする。 (4) 京畿海洋安全体験館 セウォル号沈没事故による教訓を踏まえてオープンした海難事故を想定した体験型防災教育施設であり、事故による教訓を踏まえた様々な工夫がプログラムに盛り込まれている。 防災教育は机上による学習だけでなく、実際に体験してみることも重要であることから、体験の現場を視察し、今後の本県の防災教育検証の参考とする。																																																						
6 経費の概算額	<table><tr><td>①</td><td>議員旅費</td><td>…</td><td>274,530円</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>内訳</td><td>航空運賃</td><td>191,930円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>宿泊費</td><td>82,600円</td></tr><tr><td>②</td><td>通訳料</td><td>…</td><td>76,790円</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>内訳</td><td>ガイド</td><td>21,430円</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>専門通訳</td><td>55,360円</td></tr><tr><td>③</td><td>車借上料</td><td>…</td><td>56,250円</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>合計</td><td>407,570円</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>(調査団合計</td><td>2,852,990円)</td></tr></table>	①	議員旅費	…	274,530円						内訳	航空運賃	191,930円					宿泊費	82,600円	②	通訳料	…	76,790円						内訳	ガイド	21,430円					専門通訳	55,360円	③	車借上料	…	56,250円						合計	407,570円						(調査団合計	2,852,990円)
①	議員旅費	…	274,530円																																																				
			内訳	航空運賃	191,930円																																																		
				宿泊費	82,600円																																																		
②	通訳料	…	76,790円																																																				
			内訳	ガイド	21,430円																																																		
				専門通訳	55,360円																																																		
③	車借上料	…	56,250円																																																				
			合計	407,570円																																																			
				(調査団合計	2,852,990円)																																																		

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関	調査箇所及び調査内容
1	3/26(木)	移動 ソウル市	午前 午後	飛行機 バス	(羽田空港 発) ～韓国・仁川(金浦)国際空港 着) ●視察1「ジェトロ・ソウル事務所」 ・日韓の経済交流の状況 〈ソウル泊〉
2	3/27(金)	ソウル市 京畿道 水原市	午前 午後	バス バス	●視察2「自治体国際化協会(クレア)・ソウル事務所」 ・日韓の地方自治体間の交流の状況 ●視察3「京畿道庁」 ・今後の本県との交流の在り方、京畿道の 防災対策・被災者支援の取組 〈ソウル泊〉
3	3/28(土)	京畿道 安山市 移動	午前 午後	バス 飛行機	●視察4「京畿海洋安全体験館」 ・体験型防災教育施設の視察 (韓国・仁川(金浦)国際空港 発) ～羽田空港 着)

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 栄居 学 (団 員) 市川よし子、赤野たかし、市川さとし、 須田こうへい、相原しほ、平野みぎわ
---------	--

1 要領 2 (1) の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調 査 経 費	議員 1 人当たり 100 万円以内	・ 議員 1 人当たりの経費は 407,570 円であり、基準を満たしている。	適
② 調 査 箇 所	1 日につき午前及び午後それぞれ 1 か所以上調査実施 移動日は 1 か所以上調査実施	・ 2 泊 3 日の行程の中で、移動日は 1 箇所以上、それ以外の日は午前及び午後それぞれ 1 箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	・ 韓国・京畿道とは、長く友好交流関係にある。今後の交流の在り方を考えるうえで、直接面会して意見交換することは有効である。 ・ 京畿道における防災施策についての理解を深めるためには、担当者と直接議論する必要があり、面会して意見交換する必要がある。 ・ 体験型施設については、資料では十分な理解が得られない場合が多いため、直接現地に行って視察し、体感する必要がある。

② 調査の実施時期が時宜を得たものか。	・ 政権の交代により近年の日韓関係は好転が進んでおり、自治体間交流も再び活性化の兆しを見せていることから、この機会に長年本県と友好交流関係にある韓国・京畿道を訪問し、意見交換することは時宜を得たものである。'
③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。	・ 近年の日韓関係や自治体間交流の最新の状況を詳細に聴取するためには、現地を訪問し、関係機関から直接聴取することが有効と考えられる。' ・ 近年の我が国における台風をはじめとする災害は、激甚化する傾向にあり、災害に対する備えは、本県においても喫緊の行政課題となっており、国内はもとより、海外における防災施策について、実際に現地を訪問して相互に意見交換することは、今後の施策を検証する上で一助となるものである。'
④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。	・ 調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。'